

# From Copeville, Washington

## WW II from the perspective of the U.S.

今、アメリカ史の授業で、第2次世界大戦について学習しています。アメリカ史の先生は、私がいることで非常にやりにくそうですが、それも含めて興味深いものがあります。授業を通して感じた違いについて、太平洋戦争の始めと終わりに集中して教科書の本文とともに紹介したいと思います。

1941.12.7 (12.8)

### The Pearl Harbor Attack

日本ではサラッと教わる程度だが、アメリカでは詳細まできちんと取り扱われる。授業内では基本的に日本が責められているように感じる。一方で、日本側からすれば真珠湾攻撃はアメリカに大きな被害をもたらした良い作戦だったと、戦略的に認めるような教え方もされる。「戦争」そのものに対する価値観の違いも感じる。



\*On December 7, 1941, Japanese aircraft carriers approached Hawaii. From the carriers, more than 300 bombers and fighter planes launched the attack on Pearl Harbor. In a little more than two hours, the Japanese sank or damaged 18 American ships. At nearby airfields, Japanese warplanes damaged or destroyed about 300 military aircraft. In all, the raid left more than 2,400 Americans dead and nearly 1,200 wounded. The Japanese lost just 29 planes in the attack.



1945.8.6 & 1945.8.9

### Atomic Bomb dropped on Hiroshima, Nagasaki

日本では、歴史の授業だけでなく、課外学習などでも取り扱われることが多い。アメリカでは授業での比重が比較的軽い。教科書には、The Manhattan Projectとして、原爆開発について書かれている。日本では絶対悪のように扱われる原爆投下の判断も、アメリカでは戦争を終わらすための最終判断だったという見方もある。

\*On August 6, 1945, a B-29 named the *Enola Gay* dropped an atomic bomb on Hiroshima, Japan, a city of 300,000 people. Three days later, the United States dropped a second atomic bomb. This one obliterated the city of Nagasaki. As many as 250,000 Japanese may have died from the two atomic bombs, either directly or as the result of burns, radiation poisoning, or cancer.

Truman had no regrets. "Let there be no mistake about it," he said later. "I regarded the bomb as a military weapon and never had any doubt that it should be used." The destruction of Nagasaki brought a Japanese surrender. Truman received this informal surrender on August 14, Victory over Japan Day, or V-J Day.

\*教科書 "History Alive! Pursuing American Ideals" Chapter 36 Fighting World War II 本文より

他の教科についても少しまとめてみました。

## 国語 / English

読む、書く、話す（聞く）、のそれぞれにほぼ等しく比重をおいている。読解だけでなく、作文やスピーチ、ディベートなどにも取り組む。これといった教科書があるわけではなく、市場に出版されている本の中から先生が教材を選び、授業をする。あまり深く読み込まずにさらっと全体を通る。作文の授業では、物語、詩、研究論文など様々なジャンルに取り組む。また、スピーチ、特にディベートはしっかりと時間が取られる。「ハンバーグにパイナップルを乗せるのは、アリか、ナシか」という議題から、「ソーシャルメディアは結果として悪影響か、否か」という議題にも取り組む。ディベートで培われる能力は、将来的にそのまま役立つものも多いが、数字で測りやすい能力ではないため、大学入試や各種試験を中心に考えたときに、あまり重要視されず、日本の高校の授業ではそこまで取り扱われないのだろうかと思う。

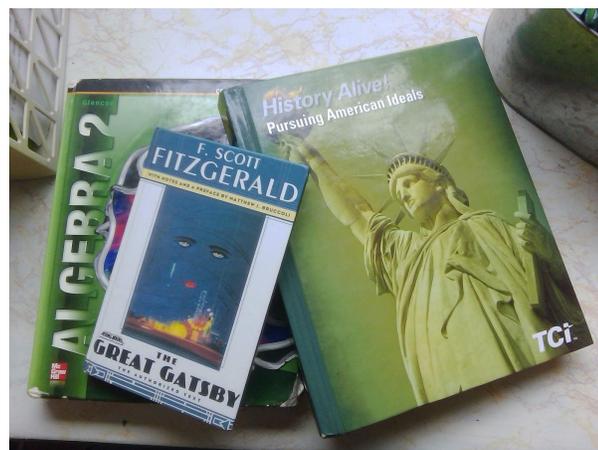
## 数学 / Math

Algebra, Calculas, Geometry など、分野ごとに教わる。ほとんどの人がAlgebraをとる。なぜそのような解き方をするのかということはほとんど説明せず、公式だけを機械的に淡々と説明される。単純計算は計算機を使うのが普通で、授業に計算機を持ってくるように指示される。日本の数学に比べ、理解はしやすいが、時々物足りなさを感じる。

## 英語 / Second Language

日本では英語が必修科目だが、アメリカでは第2ヶ国語としてスペイン語、ドイツ語、フランス語などから1つ選択する。もともと文法が近いからか、文法学習よりも表現学習に重きを置く。習熟度的に言えば、日本もアメリカも似たようなものを感じる。

Algebraの教科書、 U.S. Historyの教科書、  
Englishの授業教材 "The Great Gatsby" →



### ——☆テッペキに乗る頻出単語☆——

- |                 |      |             |      |                  |
|-----------------|------|-------------|------|------------------|
| ● scatter       | P40  | Section #4  | 93   | ～をまき散らす          |
| ● temper        | P268 | Section #20 | 752  | 機嫌；平常心           |
| ● a ~ sort of A | P343 | Section #26 | 1013 | ～な種類のA           |
| ● bet           | P420 | Section #32 | 1300 | ～を賭ける；きっと...だと思う |